

玖珠町の不登校児童生徒への支援の充実について教育長メッセージ

教職員、関係機関の皆様におかれまして、本町の子どもたち教育の充実・発展のためにそれぞれの立場でご尽力をされていることに、深く感謝いたします。

現在、全国的に不登校児童生徒数が増加しており、令和4年度には約29万9千人と過去最多となったことが発表されています。本町においても、不登校児童生徒はここ数年増加傾向にあり、予断を許さない状況です。

こうした状況を受け、玖珠町教育委員会においては、本年8月に総合教育審議会に「不登校児童生徒への支援の充実」等について諮問し、児童生徒・保護者に対するアンケートによる実態把握、それを踏まえた対応策について議論を行い、10月30日に答申をいただきました。この度、審議会の答申を受けて、玖珠町教育委員会としての対応を示した緊急提言をとりまとめましたのでお知らせいたします。

不登校児童生徒への支援を考える際に、避けなければならないのが、不登校を児童生徒自身・家庭だけの問題と考えて事態を矮小化してしまうことです。不登校は決して個人の問題に留まるものではなく、パンデミックなどにより、世界規模で価値観が変容した今日において、これまでの学校教育のあり方、子ども・家庭を取り巻く社会のあり方を見直すための問題提起と捉えるべきだと思います。

本提言は、こうした観点から、行政、学校、地域社会、各ご家庭、関係機関等が、「オール玖珠」として団結し、すべての子どもが安心して学ぶことができる「誰一人取り残されない学びの保障」を目指すものです。

教職員、関係機関の皆様には、これまでも子どもたちへの献身的な支援をいただき、心より感謝申し上げます。皆様には引き続き変わらぬご対応をお願いするとともに、支援をより一層充実させていくための環境整備に努めてまいります。

玖珠町では、これまでもP3C+A（ピンチをチャンスに、そして、チェンジ・チャレンジからアクション）をキーワードに、教職員・関係機関、地域の皆様と一致団結して、コロナ禍の困難な状況においても、より良い教育の実現を目指してまいりました。この度も、未来を担う子どもたちのための教育を飛躍させるための大きなチャンスと捉えて、共に進んでまいりたいと思っております。

何卒お力添えのほどよろしくお願いいたします。

令和5年11月20日

玖珠町教育委員会教育長
梶原敏明